

# いのちの文化論

責任者 : 黒澤 勉 教授  
担当講座(科) : 人間科学科(文学分野)

講義 21時間  
単位 1単位

## 学年

1学年 後期

## 学習方針

### 基本理念 :

「いのち」とは何か。「生物が生きている限り持続している肉体や精神の統一的・根源的な働き  
の単一総称」・・・ある辞書では、このように定義している。「いのち」ある人間は精神活動とし  
て、その「いのち」を見つめ、それが生まれることを喜び、反対に、それが失われることを恐れ、  
悲しみ、不安に思う。それは多くの作品として結実している。人間の生命活動は時代や社会を反  
映する特定の価値観を含んだきわめて文化的な活動だと言える。表現され、生み出された作品は、  
「ヒト」ならぬ「人間」の「生老病死」を考えるヒントとなる。

### 一般目標 (GIO) :

医学や生物学など自然科学の側面から捉えた「生命」観がある。しかし、それとは別に、文学  
や宗教において、また個々人の体験を通して捉えられた「いのち」観がある。科学的な「生命」  
観と、そうした個人的・感性的・伝統的・人文的な「いのち」観との対話が、今、重要な課題と  
して求められている。本講義では、「いのち」観の種々相を素材として提供し、医療人としての総  
合的な価値観形成に寄与したい。

### 到達目標 (SBOs) :

1. 医療の担い手として豊かで、確かな「いのち」観形成に向けて努力する態度を身につける。
2. それぞれの作品の背後にある「いのち」観を理解すると共に、それについて自分の意見を持つ。
3. 現代の医療の問題や文明の問題とも関連づけながら作品を読み、医療人としての使命感を育てる。
4. 人文的・社会的な幅広い問題意識を持つ。
5. 読書の習慣を身につける。
6. 読解力・文章表現力を身につける。
7. 口頭での発表力、表現力を身につける。

講義日程

(第7講義室)

受講者を2グループに分け、クラス1は火曜日2時限目、クラス2は金曜日1時限目に授業を行う。

クラス	月日	曜	時限	講座(科)名	担当者	内 容
1	9/15	火	2	文学分野	黒澤 勉 教授	相田みつお『人間だもの』・日野原重明『生きる』を読む。 (いのち観)
2	9/18	金	1			
1	9/29	火	2	"	"	正岡子規(1) (近代の青春)
2	9/25	金	1			
1	10/20	火	2	"	"	正岡子規(2)『墨汁一滴』を読む。 (病を生きる知恵)
2	10/2	金	1			
1	10/27	火	2	"	"	正岡子規(3)『仰臥漫録』を読む。 (食うこと)
2	10/23	金	1			
1	11/10	火	2	"	"	中江兆民『一年有半』・『続一年有半』を読む。 (余命の告知)
2	10/30	金	1			
1	11/17	火	2	"	"	幸徳秋水『死生』を読む。 (死刑)
2	11/6	金	1			
1	11/24	火	2	"	"	夏目漱石『思い出すことなど』を読む。 (臨死体験)
2	11/13	金	1			
1	12/1	火	2	"	"	石川啄木『悲しき玩具』を読む。 (患者の心理)
2	11/20	金	1			
1	12/8	火	2	"	"	与謝野晶子『みだれ髪』他を読む。 (女性のいのち観)
2	11/27	金	1			
1	12/15	火	2	"	"	斎藤茂吉『赤光』を読む。 (歌のいのち)
2	12/4	金	1			
1	12/22	火	2	"	"	芥川龍之介『河童』を読む。 (いのちの誕生)
2	12/11	金	1			
1	1/5	火	2	"	"	高村光太郎『智恵子抄』を読む。 (愛といのち)
2	12/18	金	1			
1	1/12	火	2	"	"	北杜夫『夜と霧の隅で』を読む。 (ナチス医学)
2	1/8	金	1			
1	1/26	火	2	"	"	戦没学生『きけわだつみのこえ』を読む。 (戦争と平和)
2	1/15	金	1			

教科書（教）・参考文献（参）・推奨図書（推）

	書名	著者名	発行所	発行年
教	いのちの文化論	黒澤 勉	医大文学研究室	2009
参	病者の文学 正岡子規	黒澤 勉	信山社	2003

成績評価方法

授業時に書いてもらう作文（宿題含む）5割と試験5割を目処とする。

オフィスアワー一覧

授業を担当する専任教員氏名	方式	曜	時間帯	備考
文学分野 黒澤 勉	A-i	月～金	12:00～17:00	